

LIVE
レポート
REPORT

個人投資家のための IRフォーラム2016 winter

～ニッポンの未来を豊かにする企業～

セミナー会場



4641



人が未来-Next Technology Frontier®
株式会社 アルプス技研



業務執行役員 経営企画部長 渡邊 信之 氏

～2018年に創業50周年を迎える正社員技術者派遣会社～

上流工程へ技術サービス提供

- **2018年7月創業50周年の正社員技術者派遣会社**
 - ・当社は、横浜市みなとみらいに本社を置く、技術者派遣、技術プロジェクト受託を行う会社です。再来年(2018年7月)に創業50周年を迎えます。
 - ・設計開発(上流工程)に携わる技術者を無期雇用(正社員)し、お客様に派遣して技術サービスを提供する「正社員の技術者派遣」が特色です。
 - ・約3000名の技術者を抱え、北海道から九州まで全国20か所の営業拠点から、製造業のお客様(約700社)に技術者を派遣しています。
 - ・工場2か所でものづくりも行い、海外はミャンマーのヤンゴンに支店があります。

当社の3つの強み

- **正社員の技術者派遣だから実現できる長期キャリア形成、雇用の安定**
 - ・無期雇用契約で雇用しているので、技術者の方が安心してキャリア形成ができます。
- **技術者の成長を促す企業文化、教育体系、仕組み**
 - ・人と人との心のつながりを大切にする経営理念「Heart to Heart」で、教育に力を入れる社風です。
- **上流工程(設計・開発)に特化、時流に合う多様な分野の開発経験**
 - ・基礎研究から試作・評価までの工程に特化、「パナR&D」買収で、さらにワンストップ技術サービスを強化しています。

国内3社・海外2社で事業展開

- **グループで総合的な技術サービスを提供**
 - ・国内は、「上流工程」の「アルプス技研」を中核に、人材ニーズ全般に応える「アルプスビジネスサービス」、カーナビシステムの設計開発を主に手がける「パナR&D」(2016年9月買収)の子会社2社でアウトソーシングサービス事業を展開しています。
 - ・海外(グローバル事業)は、台湾のアルテックシャイン、中国のアルテック上海の2子会社で「エンジニアリング事業」をサポートしています。
- **日本のものづくりを支えるビジネスモデル**
 - ・「日本のものづくりを支える外部パートナー」です。
 - ・お客様(大手製造業)の基礎研究、製品企画、設計開発などの分野では、開発サイクルの短縮化、専門分野強化、高度技術導入等のニーズが発生します。
 - ・当社は、このようなニーズに、技術派遣や技術プロジェクト受託で高度技術サービスを提供しています。
- **当社派遣技術者の約70%が設計開発業務に従事**
 - ・提供技術分野は、主に機械系、電気系、ソフト系の3分野で、業務フェーズで見ると企画研究・開発設計が約70%を占めています。

2015年度は最高業績を達成

- **2015年度は、創業以来の最高売上・利益を達成**
 - ・1996年に店頭登録(株式上場)以来、業績は順調に推移しており、2000年に東証二部、2004年に東証一部に上場しました。2009年にリーマンショックの影響で一旦低下したもののV字回復、2015年度(2015年12月期)は、創業以来の最高業績を達成。
- **2016年第3四半期は純利益前期比約6割アップ**
 - ・第3四半期業績(11月8日公表)は順調に推移、連結四半期純利益は前年同期比59.7%増でした。
 - ・営業利益率は10.8%を達成しています。
 - ・自動車関連(売上構成比40.6%)が好調ですが、特定企業に依存しない顧客構成で売上上位10社比率が低下しています(25%⇒23%)。
- **2016年度から中期経営計画で業績拡大へ**
 - ・2016年2月に2018年度までの3か年の中期経営計画(ローリング方式)を発表しました。
 - ・2016年度(2016年12月期)目標売上高は249億円です。2018年度(2018年12月期)計画は売上高293億円、営業利益28億円、ROE15%以上です。
- **配当方針：配当性向50%を維持**
 - ・2015年12月期の配当は年間65円(配当性向50.6%)。2016年12月期は、中間配当38円を実施、年間配当76円を予想しています。